

YAMAHA
PORTATONE
PSR-215



取扱説明書

はじめに

このたびはヤマハポータートーンPSR-215をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。PSR-215の様々な機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。なお、ご一読いただいた後も、不明な点が生じた場合に備えて、保証書とともに大切に保管いただきますようお願いいたします。

PSR-215の特長

本格的レギュラーサイズの61鍵

バラエティ豊かで、高音質を誇る100音色

微妙な演奏表現を可能にするタッチレスポンス（オン/オフ）機能

50スタイルのオートアカンパニメント（自動伴奏）機能

コード進行が録音できるコードメモリー

デモ曲を聴くのも自分で演奏するのもOK。マイナスイオン演奏機能付きソングブック15曲

演奏に余韻を付けるサステイン機能

取り扱い上の注意

取り扱い

- ・ご使用にならないときは、電源スイッチを切ってください。
- ・長時間ご使用にならないときは、電源アダプターを家庭用コンセントから抜いてください。また、乾電池をご使用の場合は、乾電池を取り出してください。
- ・物をぶつけたり、上に乗るなど、乱暴に扱わないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。
- ・ボタンやスイッチ類に無理な力を加えないでください。
- ・コード類を外すときは、プラグを持って外してください。コードを引っ張ると、断線やショートの原因になります。

設置場所

次のような場所で使用しますと、変形、変色、故障の原因となりますのでご注意ください。

- ・窓際や車内など直射日光の当たる場所や、暖房機具のそばなど極端に暑い場所。

- ・温度の特に低い場所。
- ・湿気やほこりの多い場所。
- ・振動の多い場所。

外装のお手入れ

- ・汚れは柔らかい布でカラぶきしてください。また、汚れのひどいときは少し湿らせた布で拭いてください。（アルコールやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。）
- ・ビニール製品を上に乗らないでください。貼りついてしまうことがあります。

他の電気機器への影響

- ・ラジオやテレビ側で雑音が発生することがあります。十分に離してお使いください。

不適切な使用による故障につきましては、保証しかねる場合がございます。

音楽を楽しむエチケット



これは、日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を締めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

目次

演奏をはじめる前に	2
電源の準備	2
演奏の準備	3
各部の名称	4
音を出す	6
音を出しましょう	6
ソングブックのデモ曲を聴きましょう	7
音色を選んで演奏する	8
いろいろな音色を選んで演奏しましょう	8
キーボードパーカッションについて	9
ボイスエフェクトをかけましょう	10
オートハーモニー	10
サステイン	11
タッチレスポンス	11
デュアルボイス(2つの音色を同時に鳴らします)	11
全体のコントロールを設定しましょう	12
スプリット(鍵盤の右側と左側で違う音色を鳴らします)	12
スプリットボイス&デュアルボイスの併用について	13
スプリット位置変更	13
テンポ	14
トランスポーズ	14

自動伴奏を使って演奏する	15
伴奏スタイルを選択しましょう	16
自動伴奏モードを選択しましょう	16
リズム/伴奏をスタートしましょう	18
テンポの調整	18
ビートディスプレイについて	18
演奏しましょう	19
フィルインの活用	19
伴奏音量の調節	19
リズム/伴奏をストップしましょう	19

ソングブックを使ってマイナスイオンで演奏する	20
デモ曲のマイナスイオン演奏をしましょう	20

コードメモリーを使う	22
録音しましょう	22
再生しましょう	24
チェイン再生しましょう	25
チェイン再生の順序のセット	25
チェイン再生	26

資料

ソングブック(01~15)楽譜集	27
最大同時発音数リスト	38
初期化の方法	39
故障かな?と思ったら...	39
PSR-215仕様	40
オプション商品のご紹介	40

表記上の約束ごと

本書のページ右端には操作ガイドがついています。以下のマークを目安にお読みください。



操作上の禁止事項、各種データが損なわれてしまう操作などを解説します。必ず目を通してください。



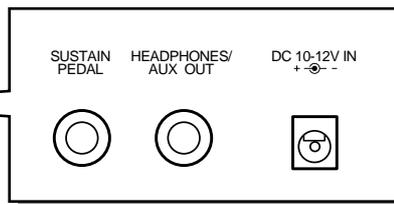
各機能を十分に理解するうえでのポイントや、本文で解説する機能の補足的な機能を解説します。



演奏上のヒントとなることを解説します。演奏にお役立てください。

演奏をはじめる前に

このイラストはPDF上では表示されません。



電源の準備

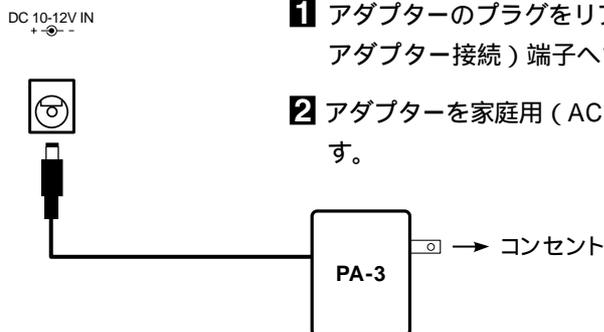
PSR-215は電源として、家庭用コンセントと乾電池の両方を使うことができます。

家庭用コンセントから電源をとるときは

付属の電源アダプターPA-3をご使用ください。

1 アダプターのプラグをリアパネルのDC 10-12V IN（電源アダプター接続）端子へさし込みます。

2 アダプターを家庭用（AC100V）コンセントにさし込みます。

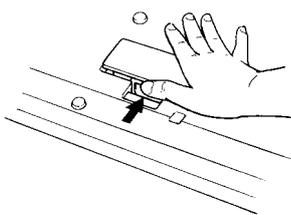


!! 注意

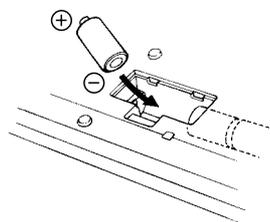
電源アダプターをご使用になる場合は、必ず付属の専用アダプターPA-3をご使用ください。他の電源アダプターの使用は故障につながります。このような場合の故障は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

乾電池を使うときは

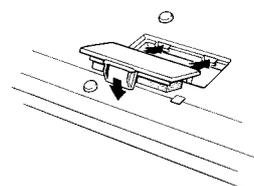
1 PSR-215を柔らかい布などの上で裏返し、電池ブタをはずします。



2 市販の乾電池（単1乾電池）を6本入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。



3 電池ブタを閉めます。



!! 注意

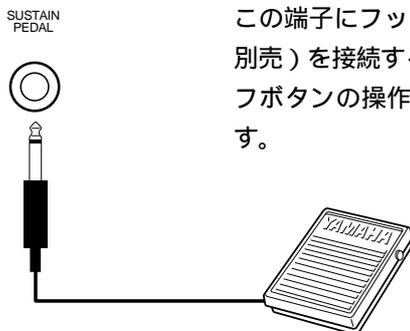
乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音が歪んだり、演奏やリズムなどがストップしたり、メモリーが初期設定に戻る場合があります。このようなときは6本とも新しいものと交換してください。乾電池をお買い求めの際は『単1乾電池6本』とご指定ください。古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。また、危険ですので異なる種類やメーカーの電池（たとえば、アルカリとマンガンなど）を混ぜて使用しないでください。

メモ

乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるようになります。

演奏の準備

サステインペダル端子

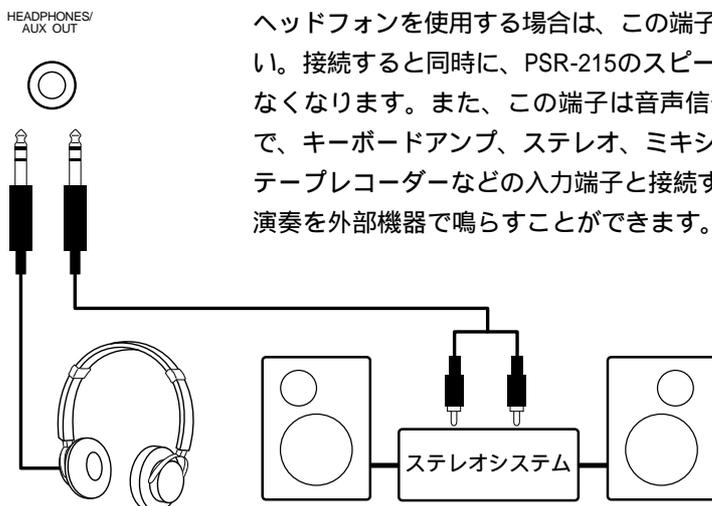


この端子にフットスイッチ（YAMAHA FC4、またはFC5：別売）を接続すると、フロントパネルのサステインオン/オフボタンの操作（P.11参照）を、フットスイッチで行えます。

!! 注意

別売のフットスイッチ（FC4、またはFC5）の接続や取り外しは、電源を切った状態で行ってください。電源を入れてからフットスイッチを差し込むと、オン/オフが逆になります。その場合は、そのまま電源を入れ直してください。

ヘッドホン/AUX出力端子



ヘッドホンを使用する場合は、この端子に接続してください。接続すると同時に、PSR-215のスピーカーからは音が出なくなります。また、この端子は音声信号を出力しますので、キーボードアンプ、ステレオ、ミキシングコンソール、テープレコーダーなどの入力端子と接続すれば、PSR-215の演奏を外部機器で鳴らすことができます。

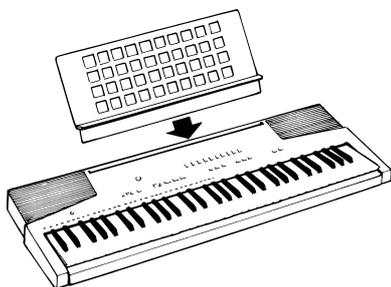
メモ

ヘッドホンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

!! 注意

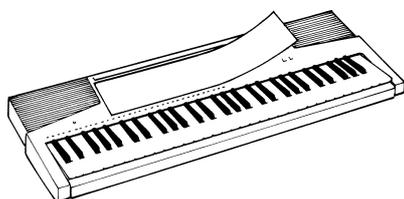
PSR-215を外部機器と接続する場合は、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、両方の電源を切り、音量を最小にしてから接続してください。

譜面立て

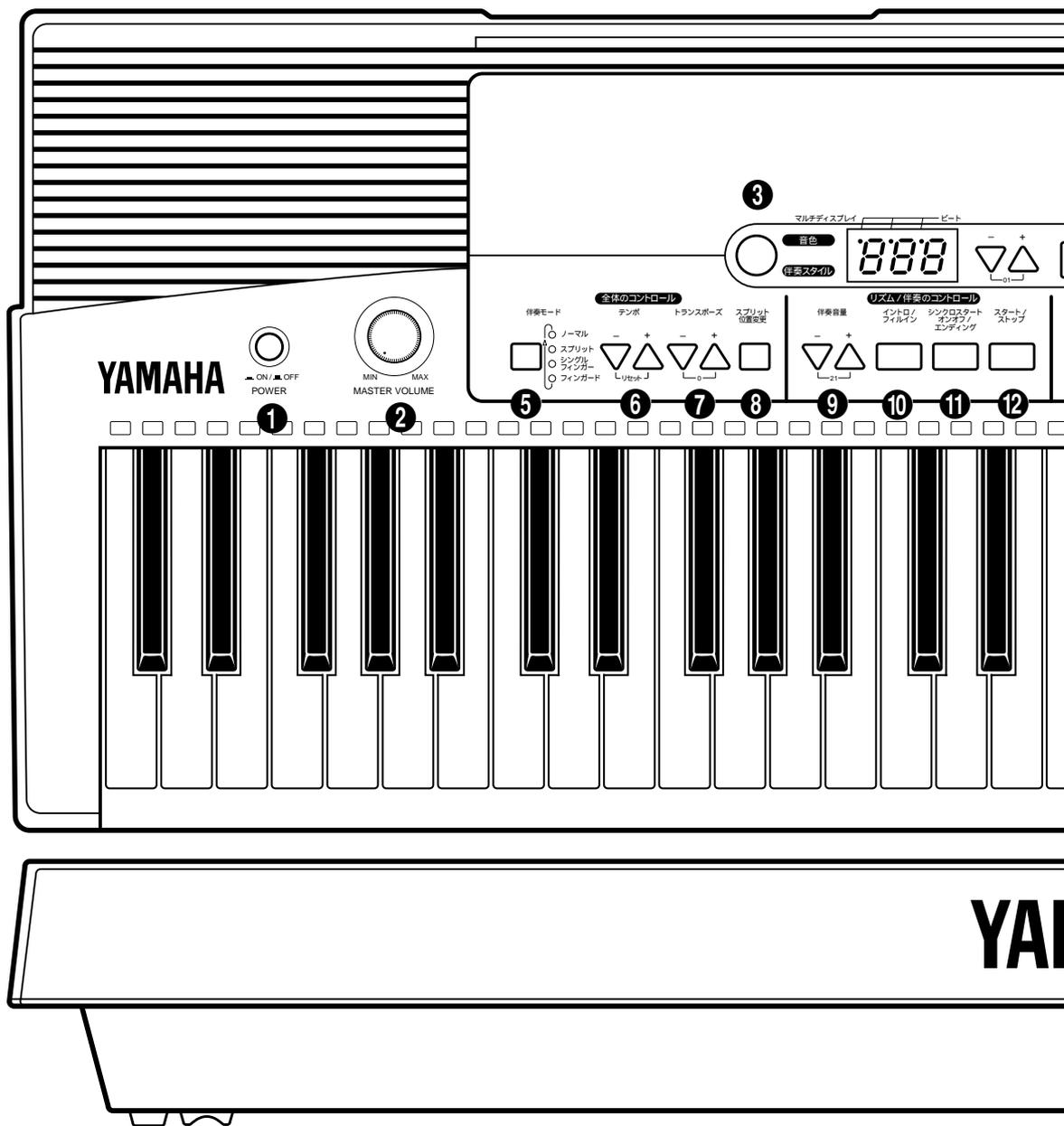


楽譜を見ながら演奏する場合は、譜面立てを利用すると便利です。譜面立ての下の部分をPSR-215のパネル上のスロットに差し込んでください。

和文シート



PSR-215のパネルは英文で表記されています。本書は付属の和文シートの表記で説明いたしますので、和文シートをパネルの上に乗せてご利用ください。なお、和文シートは粘着テープ式になっていますので、パネル面に貼り付けることもできます。



フロントパネル

- ① POWER ON/OFF (電源オン/オフ) スイッチ P. 6
- ② MASTER VOLUME (マスターボリューム) P. 6
- ③ 音色 / 伴奏スタイル切替ボタン&ランプ P. 8, 16
- ④ マルチディスプレイ&ナンバー選択ボタン
[+] [-], [0] ~ [9] P. 8, 16

全体のコントロール

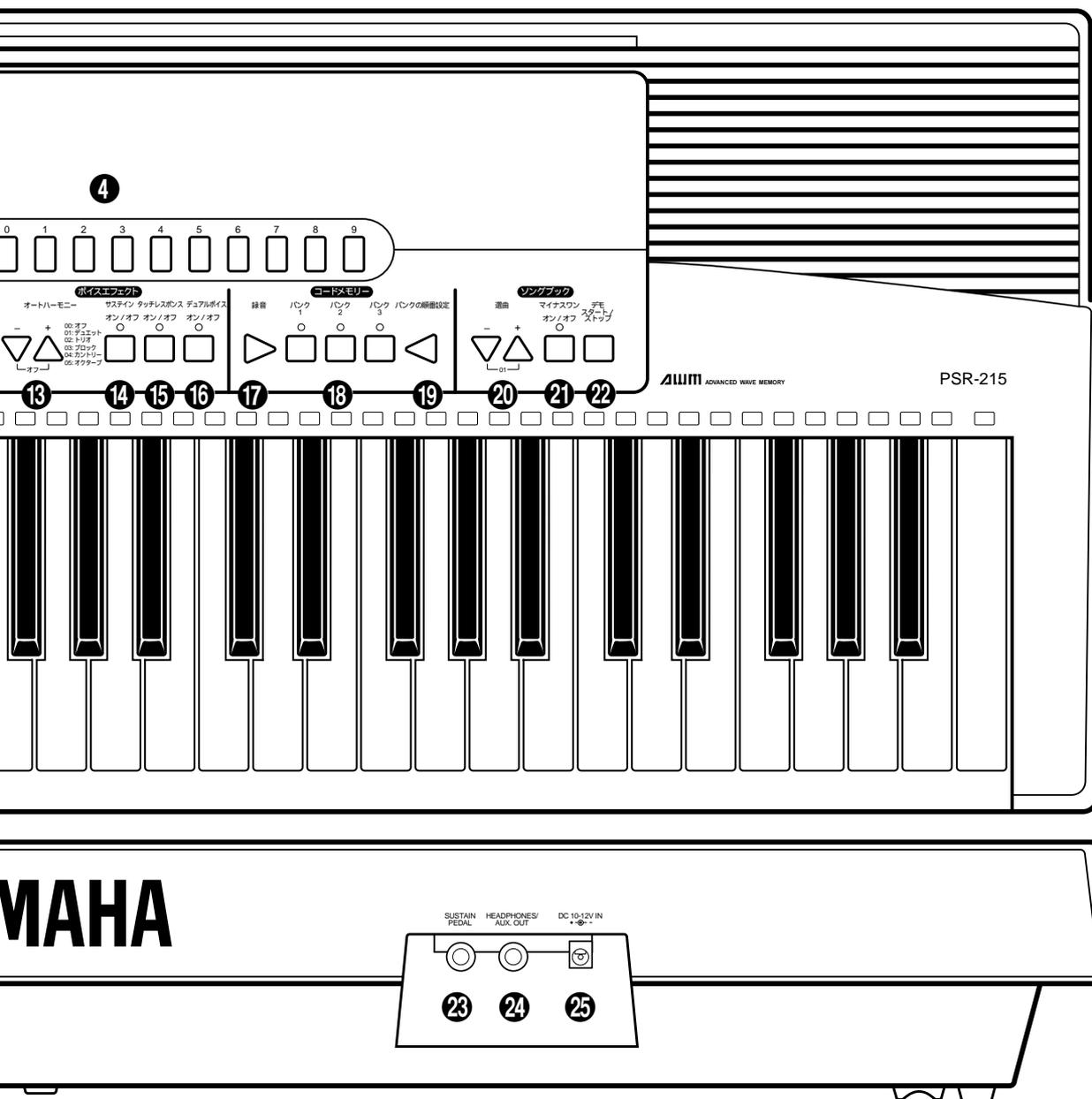
- ⑤ 伴奏モード (ノーマル/スプリット/シングル
フィンガー/フィンガード) ボタン P. 12, 16, 17
- ⑥ テンポ [+] [-] ボタン P. 14, 18
- ⑦ トランスポーズ [+] [-] ボタン P. 14
- ⑧ スプリット位置変更ボタン P. 13

リズム/伴奏のコントロール

- ⑨ 伴奏音量 [+] [-] ボタン P. 19
- ⑩ イントロ/フィルインボタン P. 18, 19
- ⑪ シンクロスタートオンオフ/
エンディングボタン P. 18, 19
- ⑫ スタート/ストップボタン P. 18, 19

ボイスエフェクト

- ⑬ オートハーモニー [+] [-] ボタン P. 10
- ⑭ サステインオン/オフボタン P. 11
- ⑮ タッチレスポンスオン/オフボタン P. 11
- ⑯ デュアルボイスオン/オフボタン P. 11



コードメモリー

- ⑬ 録音ボタン P. 22
- ⑭ バンク1~3ボタン P. 22, 24, 25
- ⑮ バンクの順番設定ボタン P. 25, 26

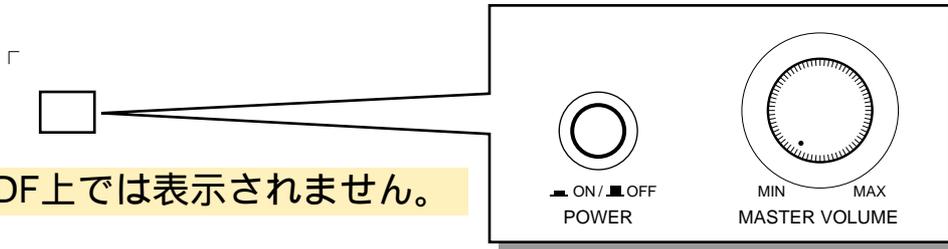
ソングブック

- ⑳ 選曲 [+] [-] ボタン P. 7, 20
- ㉑ マイナスワンオン / オフボタン P. 20, 21
- ㉒ デモスタート / ストップボタン P. 7, 21

リアパネル

- ㉓ SUSTAIN PEDAL (サステインペダル) 端子 P. 3
- ㉔ HEADPHONES/AUX OUT (ヘッドフォン / AUX出力) 端子 P. 3
- ㉕ DC 10-12V IN (電源アダプター接続) 端子 P. 2

音を出しましょう



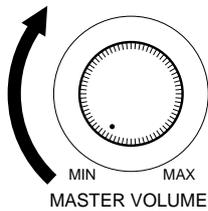
このイラストはPDF上では表示されません。

1 電源を入れます。



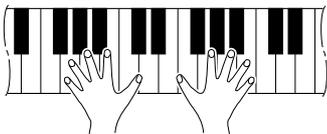
POWER ON/OFF (電源オン/オフ) スイッチを押して電源を入れます。

2 音量を調整します。



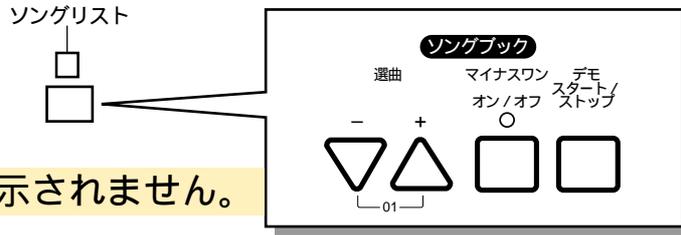
MASTER VOLUME (マスターボリューム) を回して、適度な音量になるように調節します。

3 音を出しましょう。



鍵盤を弾きましょう。音色ナンバー01アコースティックピアノの音が鳴ります。

ソングブックのデモ曲を聴きましょう

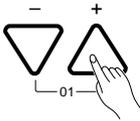


このイラストはPDF上では表示されません。

1 マルチディスプレイをソングナンバーの表示に切り替えます。



選曲



選曲 [+] [-] ボタンのどちらかを押すと、現在選ばれているソングナンバーがマルチディスプレイに表示されます。

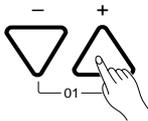
メモ

電源を入れたときの設定は01：レイジーアフタヌーンです。

ソングナンバーの表示中は、マルチディスプレイの一番左の桁に「d(demoのd)」が表示されます。なお、表示後約2秒でディスプレイは伴奏スタイルまたは音色ナンバーの表示に戻ります。

[+] [-] ボタンを同時に押すと、ソングナンバーは01に戻ります。

2 ソングを選択します。



ソングナンバーの表示中に、選曲 [+] [-] ボタンを押して01～15のデモ曲の中から好みのソングナンバーを選びます。ナンバーは [+] ボタンで一つ増加、[-] ボタンで一つ減少、押し続けると連続で増減します。

3 デモ曲をスタートします。

デモスタート/ストップ



デモスタート/ストップボタンを押すとデモ曲がスタートします。選択したソングの演奏が終了すると、次のナンバーのソングが自動的に始まります。

メモ

デモ曲はテンポの調整をすることができます。(P.18参照)

デモ曲を聴きながら鍵盤で演奏することができます。

デモ曲の演奏中は、伴奏スタイルの変更はできません。また伴奏モードボタンを押してシングルフィンガー/フィンガードに変更することはできません。

4 デモ曲をストップします。

デモスタート/ストップ



デモスタート/ストップボタンをもう一度押すとデモ曲はストップします。

デモ曲は、デモスタート/ストップボタンを押すまで、15曲を繰り返し演奏します。

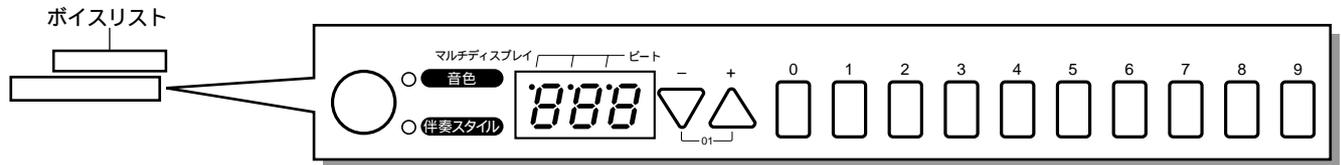
メモ

デモ曲の再生中にソングナンバーを変更すると、すぐに変更したソングナンバーのデモ曲の再生がスタートします。

デモ曲のマイナスイオン演奏に関してはP.20を参照してください。

音色を選んで演奏する

いろいろな音色を選んで演奏しましょう



このイラストはPDF上では表示されません。

1 マルチディスプレイを音色ナンバーの表示に切り替えます。.....

音色 / 伴奏スタイル切替ボタンを押して「音色」ランプを点灯させます。マルチディスプレイには音色ナンバーが表示されます。

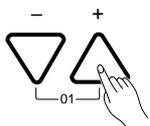
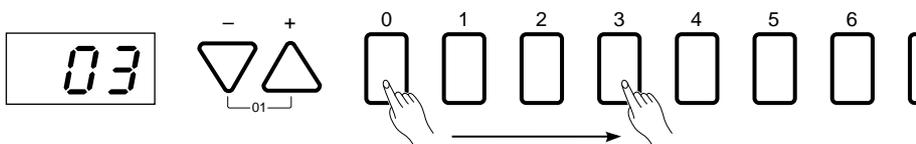


メモ

電源を入れたときの音色は01:アコースティックピアノです。

2 音色を選択します。.....

ナンバー選択ボタン [0] ~ [9] を10の位、1の位の順に2つ押して好みの音色を選択してください。
たとえば、03 ハープシコードを選択する場合は [0]、[3] を続けて押します。



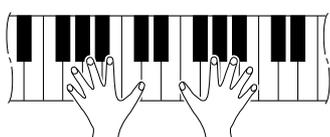
また、[+] [-] ボタンを使ってナンバーを選択することもできます。[+] ボタンを押すとナンバーが一つ増加、[-] ボタンを押すとナンバーが一つ減少します。押し続けると連続で増減します。

メモ

[+] [-] ボタンを同時に押すと音色ナンバーは01:アコースティックピアノになります。

音色によって最適な音域が鍵盤にセットされます。

3 演奏しましょう。.....



好みの音色を選んだら、演奏しましょう。

キーボードパーカッション (音色ナンバー97~00) について
 音色ナンバー97~00には打楽器 (バラエティーに富んだスタンダードパーカッション
 セットなど) の音色がプリセットされています。

メモ

PSR-215の鍵盤上部には音色ナンバー00
 を選んだときに、各鍵盤に設定される
 打楽器音色を示すイラストがついてい
 ます。

キーボードパーカッション (音色ナン
 バー00) にはトランスポーズ (P.14参
 照) は効きません。

[キーボードパーカッションチャート]

音色No.97 ティンパニ

ノートネーム	パーカッションネーム
C1~C6	ティンパニ (音階付)

音色No.98 スチールドラム

ノートネーム	パーカッションネーム
C1~C6	スチールドラム (音階付)

音色No.99 ラテンパーカッション

ノートネーム	パーカッションネーム
C1~B1	コンガ (音階付)
C2~B2	ボンゴ (音階付)
C3~B3	ティンパレス (音階付)
C4~B4	アゴゴ (音階付)
C5~C6	クイーカ (音階付)

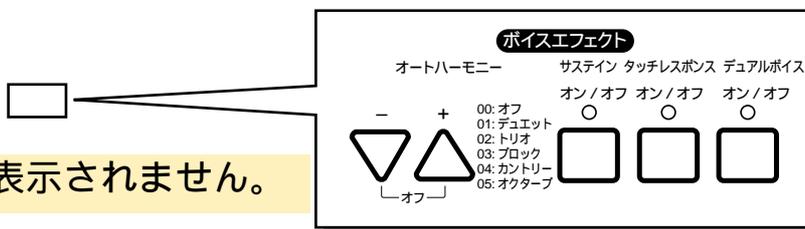
音色No.00 ドラムキット

ノートネーム	イラスト/パーカッションネーム	ノートネーム	イラスト/パーカッションネーム
C1	<input type="checkbox"/> パスドラム (ゲート)	G3	<input type="checkbox"/> タンパリン
C#1	<input type="checkbox"/> トライアングル (ミュート)	G#3	<input type="checkbox"/> ティンパレス (ロー)
D1	<input type="checkbox"/> スネア (ゲート)	A3	<input type="checkbox"/> ティンパレス (ハイ)
D#1	<input type="checkbox"/> トライアングル (オープン)	A#3	<input type="checkbox"/> アゴゴ (ロー)
E1	<input type="checkbox"/> コンガ (ロー)	B3	<input type="checkbox"/> アゴゴ (ハイ)
F1	<input type="checkbox"/> コンガ (ハイ オープン)	C4	<input type="checkbox"/> パスドラム (アナログ)
F#1	<input type="checkbox"/> コンガ (ハイ ミュート)	C#4	<input type="checkbox"/> カバサ
G1	<input type="checkbox"/> ボンゴ (ロー)	D4	<input type="checkbox"/> スネア (アナログ)
G#1	<input type="checkbox"/> ボンゴ (ハイ)	D#4	<input type="checkbox"/> マラカス
A1	<input type="checkbox"/> ブラッシュ (スラップ)	E4	<input type="checkbox"/> クイーカ (ロー)
A#1	<input type="checkbox"/> ブラッシュ (スワール)	F4	<input type="checkbox"/> クイーカ (ハイ)
B1	<input type="checkbox"/> パスドラム (ロー)	F#4	<input type="checkbox"/> ハイハット (アナログクローズ)
C2	<input type="checkbox"/> パスドラム (ハイ)	G4	<input type="checkbox"/> タム (アナログ ロー)
C#2	<input type="checkbox"/> クローズ リムショット	G#4	<input type="checkbox"/> ハイキュー
D2	<input type="checkbox"/> スネア (ロー)	A4	<input type="checkbox"/> タム (アナログ ミッド)
D#2	<input type="checkbox"/> ハンドクラップ	A#4	<input type="checkbox"/> ハイハット (アナログオープン)
E2	<input type="checkbox"/> スネア (ハイ)	B4	<input type="checkbox"/> タム (アナログ ハイ)
F2	<input type="checkbox"/> オープン リムショット	C5	<input type="checkbox"/> カウベル
F#2	<input type="checkbox"/> ハイハット (クローズ)	C#5	<input type="checkbox"/> クラベス
G2	<input type="checkbox"/> タム (ベース)	D5	<input type="checkbox"/> サンバ ホイッスル
G#2	<input type="checkbox"/> ハイハット (ペダル)	D#5	<input type="checkbox"/> スクラッチ (ロー)
A2	<input type="checkbox"/> タム (ロー)	E5	<input type="checkbox"/> スクラッチ (ハイ)
A#2	<input type="checkbox"/> ハイハット (オープン)	F5	<input type="checkbox"/> 声 1
B2	<input type="checkbox"/> タム (ミッド)	F#5	<input type="checkbox"/> 声 2
C3	<input type="checkbox"/> タム (ハイ)	G5	<input type="checkbox"/> 声 3
C#3	<input type="checkbox"/> クラッシュ シンバル	G#5	<input type="checkbox"/> 声 4
D3	<input type="checkbox"/> タム (エレクトロニック ロー)	A5	<input type="checkbox"/> 声 5
D#3	<input type="checkbox"/> ライド シンバル	A#5	<input type="checkbox"/> 声 6
E3	<input type="checkbox"/> タム (エレクトロニック ミッド)	B5	<input type="checkbox"/> 声 7
F3	<input type="checkbox"/> タム (エレクトロニック ハイ)	C6	<input type="checkbox"/> 声 8
F#3	<input type="checkbox"/> スブラッシュ シンバル		

ボイスエフェクトをかけましょう

鍵盤での演奏に、オートハーモニーやサステインなど様々な効果（エフェクト）をかけましょう。

このイラストはPDF上では表示されません。



オートハーモニー

オートハーモニーとは、スプリットモード（P.12参照）、シングルフィンガーモード（P.16参照）、フィンガードモード（P.17参照）の時に、右手鍵域（スプリットポイント（P.12参照）より右側）の押鍵に対して、ハーモニーが自動的にかけられる機能です。ハーモニーは左手鍵域で押さえられたコードに従ってかけられます。



1 オートハーモニー [+] [-] ボタンのどちらかを押します。現在選ばれているオートハーモニーのナンバーがマルチディスプレイに表示されます。

2 ナンバーの表示中に [+] [-] ボタンを押して00～05の中から好みのオートハーモニーのナンバーを選びます。ナンバーは [+] ボタンで一つ増加、[-] ボタンで一つ減少、押し続けると連続で増減します。

ナンバーごとのオートハーモニーの種類は以下のとおりです。

[オートハーモニーリスト] カッコ内はディスプレイ表示です。

00 (H00)	オフ	オートハーモニーはかかりません。
01 (H01)	デュエット	押鍵音よりも低い音が1音付加され、2音のハーモニーになります。
02 (H02)	トリオ	押鍵音よりも低い音が2音付加され、3音のハーモニーになります。
03 (H03)	ブロック	ブロックコードで演奏したときのようなジャズ調のハーモニーになります。
04 (H04)	カントリー	押鍵音よりも高い音が1音付加され、カントリー調のハーモニーになります。
05 (H05)	オクターブ	押鍵音の1オクターブ下と2オクターブ下の音が付加されたハーモニーになります。

メモ

電源を入れたときの設定は00：オフです。

オートハーモニーのナンバーの表示中は、マルチディスプレイの一番左の桁に「H (HarmonyのH)」が表示されます。

オートハーモニーのナンバー表示後約2秒で、ディスプレイは伴奏スタイルまたは音色ナンバーの表示に戻ります。

[+] [-] ボタンを同時に押すと、オートハーモニーのナンバーは00：オフになります。

コードメモリーの再生時には、再生のコード進行に合わせてハーモニーが発音されます。

オートハーモニーがかかっている状態で、右手押鍵中に左手鍵域でコードを変えると、新しいコードと右手の押鍵に適したハーモニー音が再発音されます。

ハーモニー効果をかけると、鍵盤演奏は単音になります。

スプリットモード（P.12参照）時は、左手鍵域の押鍵に対してオートハーモニーはかかりません。

伴奏音、デュアルボイスモード（P.11参照）時の2つめの音色にはオートハーモニーはかかりません。

デモ曲にあらかじめ設定されているオートハーモニーのナンバーを変更することはできません。

押鍵中にハーモニーナンバーを変更した場合、次の押鍵から新しいナンバーのオートハーモニーがかかります。

サステイン

サステインとは押鍵音に余韻が付け加えられる機能のことです。

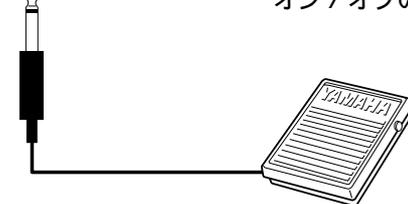


- ▶ サステインオン/オフボタンを押します。ランプが点灯するとサステインがかかります。

SUSTAIN PEDAL



- ▶ リアパネルのサステインペダル端子にフットスイッチ（YAMAHA FC4、またはFC5：別売）を接続します。サステインオン/オフボタンに代わってフットスイッチでオン/オフの操作が可能になります。（P.3参照）



メモ

デュアルボイスモード（下記参照）時は、両方の音色にサステインがかかります。

スプリットボイスモード（P.12参照）時は、右手鍵域、左手鍵域それぞれ音色に対して個別にサステインのオン/オフが設定できます。右手鍵域音色のサステインの設定をする場合は、右手鍵域の鍵盤を押しサステインをオン（またはオフ）します。左手鍵域音色のサステインの設定をする場合は、左手鍵域の鍵盤を押しサステインをオン（またはオフ）します。

音色の中にはサステインのかからないものがあります。

伴奏音（P.15参照）にはサステインはかかりません。

タッチレスポンス

タッチレスポンスとは、鍵盤を押さえる強弱によって、音の大きさが変化する機能です。タッチレスポンスをオンにすれば、微妙なタッチニュアンスを表現することができます。オフにすると、鍵盤を押さえる強弱に関わらず一定音量で演奏できます。



- ▶ タッチレスポンスオン/オフボタンを押します。ランプが点灯すると、演奏にタッチレスポンスがかかります。

メモ

タッチレスポンスの初期設定（電源を入れたときの設定）はオンです。

デュアルボイス（2つの音色を同時に鳴らします）

デュアルボイスとは鍵盤での演奏に対して、現在選ばれている音色にもう1音色加えた2つの音色が同時に鳴るモードのことです。

ランプの点灯中、マルチディスプレイは2つ目の音色に関するデータを表示します。音色ナンバーを変更して、色々な組合せで演奏しましょう。



- ▶ デュアルボイスオン/オフボタンを押します。ランプが点灯するとデュアルボイスモードになります。

メモ

一つ目の音色に関する設定は「デュアルボイス」をキャンセルした状態（ランプ消灯）で行ってください。

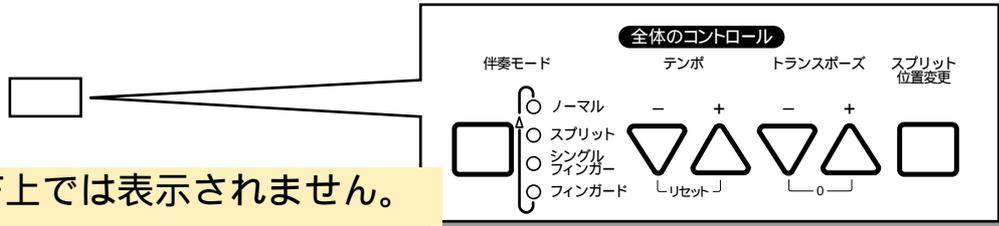
デュアルボイスモードの2つ目の音色の初期設定（電源を入れたときの設定）は39：ストリングス2スローです。

伴奏モードがシングルフィンガーまたはフィンガードに設定されているときは右手鍵域のみデュアルボイスとなります。

PSR-215の最大同時発音数は28音です。デュアルボイス、スプリットボイス（P.12参照）、自動伴奏（P.16参照）を使用すると、鍵盤演奏の発音数は減少します。最大同時発音数に関する詳細はP.38の「最大同時発音数リスト」の項を参照ください。

全体のコントロールを設定しましょう

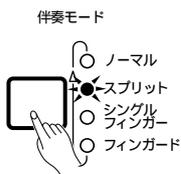
スプリットの設定や、デモ曲などのテンポの変更、トランスポーズ（移調）といった鍵盤演奏全体に関するコントロールを行きましょう。



このイラストはPDF上では表示されません。

スプリット

スプリットとは、スプリット位置を境に右手鍵域と左手鍵域で異なる音色で演奏することができるモードです。



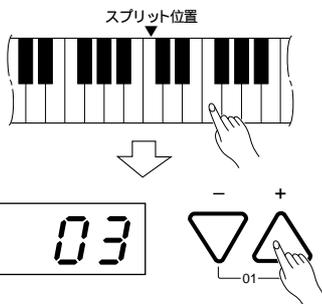
- ▶ 伴奏モード（ノーマル/スプリット/シングルフィンガー/フィンガード）ボタンを押します。「スプリット」ランプが点灯すると、スプリットボイスモードになります。

メモ

スプリット位置の初期設定（電源を入れたときの設定）はC3です。「シングルフィンガー」および「フィンガード」ランプ点灯時に関する詳細はP.16, 17「自動伴奏モードを選択しましょう」の項を参照してください。

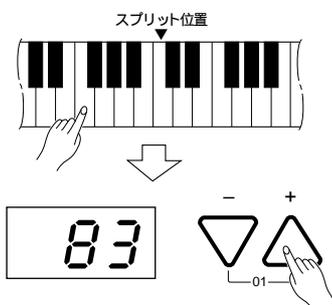
メモ

スプリットボイスモードの左手鍵域音色の初期設定（電源を入れたときの設定）は87：ウッドベースです。



右手鍵域の音色設定

- 1 右手鍵域の鍵盤のいずれかを押してください。マルチディスプレイにスプリットボイスモードに入る前まで選ばれていた音色ナンバーが表示されます。
- 2 変更する場合は、ナンバー選択ボタン [+], [-], [0] ~ [9] を使って新しい音色ナンバーを選択してください。

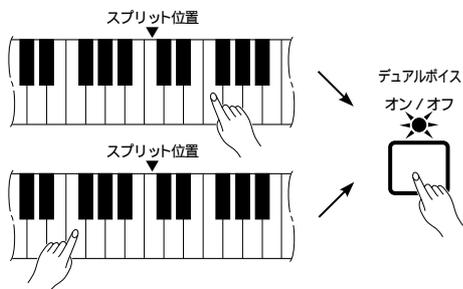


左手鍵域の音色設定

- 1 左手鍵域の鍵盤のいずれかを押してください。マルチディスプレイに左手鍵域に設定されている音色ナンバーが表示されます。
- 2 変更する場合は、ナンバー選択ボタン [+], [-], [0] ~ [9] を使って新しい音色ナンバーを選択してください。

スプリットボイス&デュアルボイスの併用について

「スプリット」ランプが点灯している状態で「デュアルボイス」ランプ (P.11参照) を点灯させると、PSR-215はスプリットとデュアルボイス両方のモードを同時に使用することができます。



- 1 「スプリット」ランプが点灯している状態で右手鍵域を押鍵し、「デュアルボイス」をオンにすると、右手鍵域がデュアルボイスになります。
- 2 左手鍵域を押鍵してから「デュアルボイス」をオンにすると、右手鍵域同様、左手鍵域もデュアルボイスになります。

スプリット&デュアルボイスモードでは、左右それぞれの鍵域で2音色ずつ、合計4音色までを同時に鳴らすことができます。4つの音色の各種設定は、以下の操作でマルチディスプレイを切り替えてから行ってください。

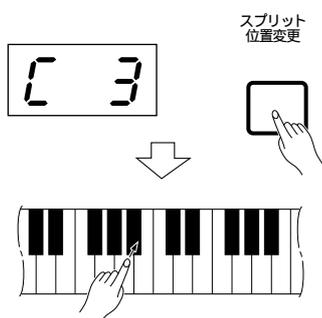
- 右手鍵域1つめの音色設定 「スプリット」オン (ランプ点灯) → 右手鍵域の押鍵 → 「デュアルボイス」オフ (ランプ消灯) → 音色設定
- 右手鍵域2つめの音色設定 「スプリット」オン (ランプ点灯) → 右手鍵域の押鍵 → 「デュアルボイス」オン (ランプ点灯) → 音色設定
- 左手鍵域1つめの音色設定 「スプリット」オン (ランプ点灯) → 左手鍵域の押鍵 → 「デュアルボイス」オフ (ランプ消灯) → 音色設定
- 左手鍵域2つめの音色設定 「スプリット」オン (ランプ点灯) → 左手鍵域の押鍵 → 「デュアルボイス」オン (ランプ点灯) → 音色設定

メモ

PSR-215の最大同時発音数は28音です。最大同時発音数に関する詳細はP.38の「最大同時発音数リスト」の項を参照ください。

スプリット位置変更

スプリットモードのスプリット位置を変更することができます。



- 1 スプリット位置変更ボタンを押すと、押している間マルチディスプレイに現在設定されているスプリット位置が表示されます。
- 2 スプリット位置変更ボタンを押しながら鍵盤を押さえると、新しいスプリット位置が設定されます。この時押さえた鍵盤が右手鍵域の最低音となり、マルチディスプレイに表示されます。



メモ

スプリット位置の初期設定 (工場出荷時の設定) はC3です。

シングルフィンガー/フィンガードモード (P.16, 17参照) 時のスプリット位置も同様に変更することができます。それぞれ記憶できます。各モードに入ってから同様の操作を行ってください。

伴奏モードが「ノーマル」のときはスプリット位置が存在しないため、スプリット位置変更ボタンを押すと「---」がディスプレイに表示されます。

!! 注意

電源アダプターがコンセントに差し込まれているか、乾電池がセットされている場合は、電源を切っても、スプリット位置の設定はメモリーされています。電源アダプターを外したり、乾電池を抜いた場合は、スプリット位置は工場出荷時の初期設定に戻ります。

テンポ

デモ曲や自動伴奏のテンポを調節することができます。



テンポ

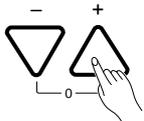


- ▶ テンポ [+] [-] ボタンを押して、テンポを変更します。
詳細はP.18を参照してください。

トランスポーズ



トランスポーズ



- 発音する音色の音程を-12~+12半音 (±1オクターブ) の範囲で調節することができます。
- 1 トランスポーズ [+] [-] ボタンのどちらかを押します。現在設定されているトランスポーズ値がマルチディスプレイに表示されます。
 - 2 トランスポーズ値の表示中に、[+] [-] ボタンを押して音程を変更します。トランスポーズ値は、[+] ボタンを押すと半音音程が上がり、[-] ボタンを押すと半音音程が下がり、押し続けると連続で増減します。-12~+12の範囲で設定してください。

メモ

トランスポーズ [+] [-] ボタンを同時に押すと初期設定 (電源を入れたときの設定) の0に戻ります。

トランスポーズ表示後約2秒でディスプレイは伴奏スタイルまたは音色ナンバーの表示に戻ります。

押鍵中にトランスポーズ値を変更すると、次の押鍵から新しいトランスポーズ値で発音されます。

キーボードパーカッション (音色ナンバー00) には効きません。

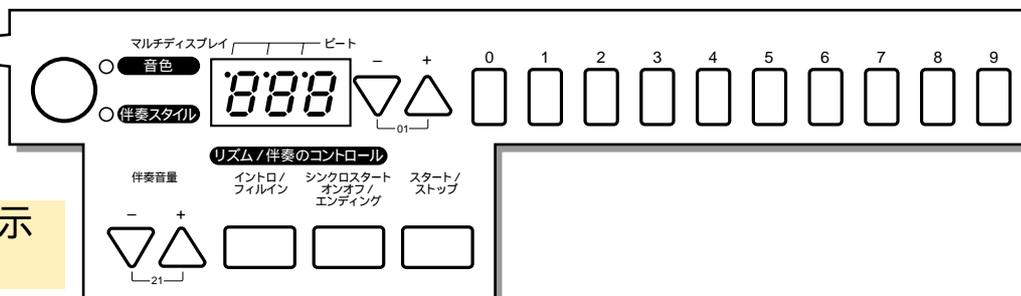
ヒント

この機能を使用すれば難しい調の曲でも、簡単に演奏することができます。

自動伴奏を使って演奏する

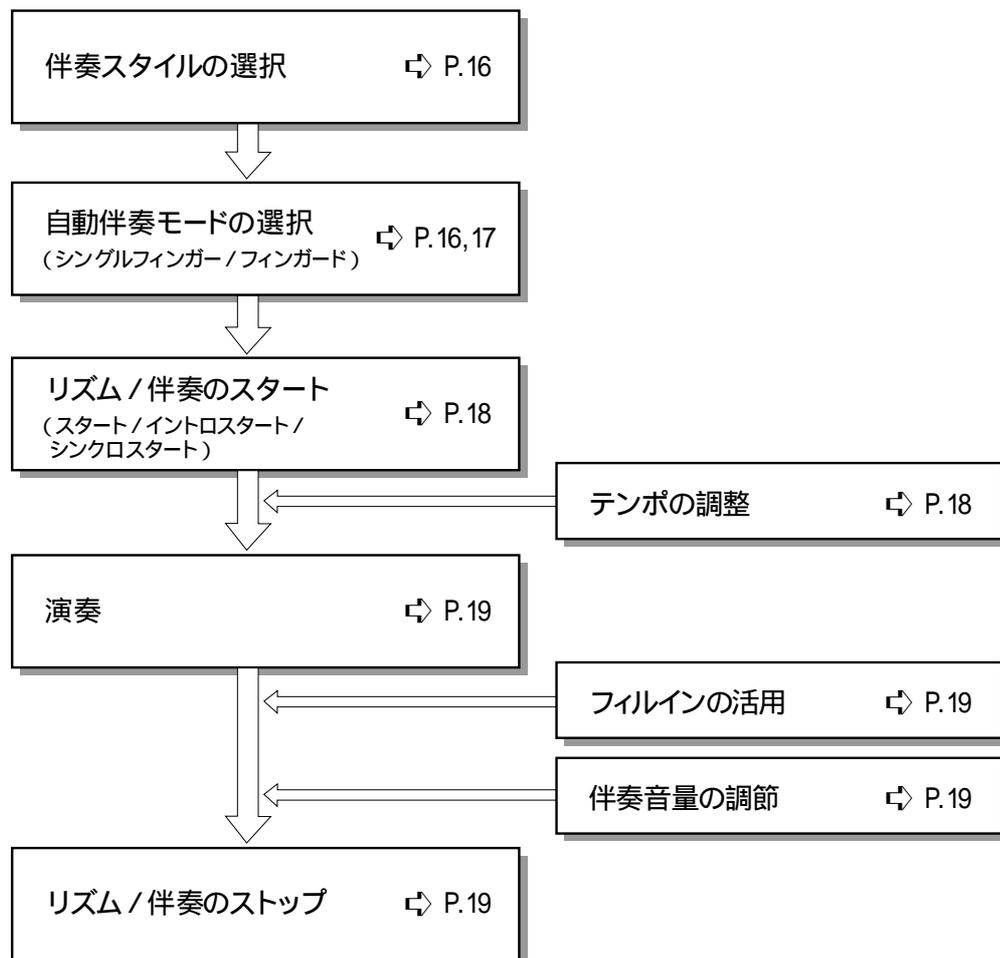
PSR-215は、幅広い音楽スタイルに対応できる自動伴奏機能を持っています。自動伴奏機能とは、左手鍵域（スプリット位置より左側の鍵盤→P.13参照）で検出されたコードと選択されたリズムスタイルに合わせて、伴奏を自動的に演奏する機能です。

スタイルリスト



このイラストはPDF上では表示されません。

自動伴奏を使って演奏する手順は下図のようになります。全体の流れ（手順）を十分に理解した上で、以下の説明を読んでください。



伴奏スタイルを選択しましょう

1 マルチディスプレイを伴奏スタイルの表示に切り替えます。.....

音色 / 伴奏スタイル切替ボタンを押して「伴奏スタイル」ランプを点灯させます。
マルチディスプレイには現在のスタイルナンバーが表示されます。

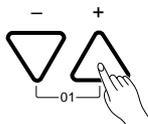
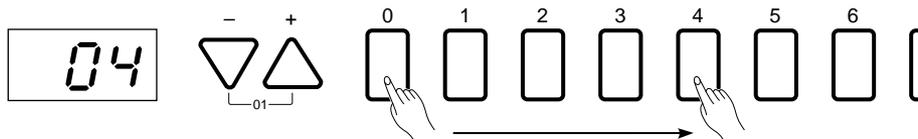


メモ

電源を入れたときの伴奏スタイルの初期設定（電源を入れたときの設定）は、01：エピックバラードです。

2 伴奏スタイルを選択します。.....

ナンバー選択ボタン [0] ~ [9] を10の位、1の位の順に2つ押しして好みの伴奏スタイルを選択してください。
たとえば、04：ポップロックを選択する場合は、[0]、[4] を続けて押します。



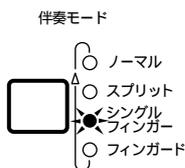
また、[+] [-] ボタンを使ってナンバーを選択することもできます。[+] ボタンを押すとナンバーが一つ増加、[-] ボタンを押すとナンバーが一つ減少、押し続けると連続で増減します。

メモ

伴奏スタイルの変更後、[+] [-] ボタンを同時に押すと、伴奏スタイルナンバーは01に戻ります。

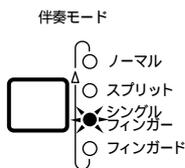
リズムをスタートした後に伴奏スタイルを変更すると、次の小節から演奏パターンが変更されます。

自動伴奏モードを選択しましょう



▶ 伴奏モード（ノーマル / スプリット / シングルフィンガー / フィンガード）ボタンを押して「シングルフィンガー」または「フィンガード」ランプを点灯させると、PSR-215は自動伴奏モードになります。

シングルフィンガーモード



このモードではスプリット位置より左側の鍵盤で、3本以内の指でメジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを演奏することができます。そして、そのコードと選ばれた伴奏スタイルに従って自動伴奏が演奏されます。

シングルフィンガー用鍵盤 ← 初期設定D2



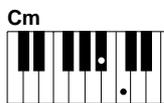
メモ

シングルフィンガーモードにおけるスプリット位置の初期設定（電源を入れたときの設定）はD2です。スプリット位置の変更方法はP.13の「スプリット位置変更」の項を参照してください。

シングルフィンガードモードで認識されるコードの押さえ方



メジャー (M) コード
ルートキーを押さえてください。



マイナー (m) コード
ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵を同時に押さえてください。

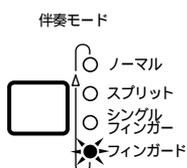


セブンス (7) コード
ルートキーと、ルートキーより左側の白鍵を同時に押さえてください。



マイナーセブンス (m7) コード
ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。

フィンガードモード

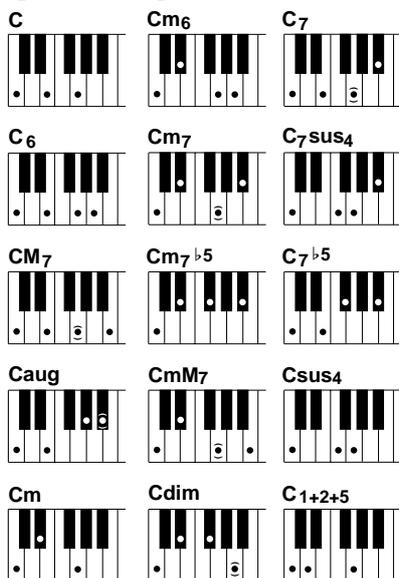


このモードでは、スプリット位置より左側の鍵盤でコードを押さえると、そのコードと選ばれた伴奏スタイルに従って自動伴奏が演奏されます。



フィンガードモードで認識されるコードの押さえ方

[C の押鍵例]



メジャー [M]	1 - 3 - 5
メジャーシックス [6]	1 - 3 - 5 - 6
メジャーセブンス [M7]	1 - 3 - (5) - 7
オーギュメント [aug]	1 - 3 - #5 - (b7)
マイナー [m]	1 - b3 - 5
マイナーシックス [m6]	1 - b3 - 5 - 6
マイナーセブンス [m7]	1 - b3 - (5) - b7
マイナーセブンスフラットファイブ [m7b5]	1 - b3 - b5 - b7
マイナーメジャーセブンス [mM7] ...	1 - b3 - (5) - 7
ディミニッシュ [dim]	1 - b3 - b5 - (6)
セブンス [7]	1 - 3 - (5) - b7
セブンスサスフォー [7sus4]	1 - 4 - 5 - b7
セブンスフラットファイブ [7b5]	1 - 3 - b5 - b7
サスフォー [sus4]	1 - 4 - 5
ワンプラストゥープラスファイブ [1+2+5]	1 - 2 - 5

メモ

フィンガードモードにおけるスプリット位置の初期設定 (電源を入れたときの設定) はG2です。スプリット位置の変更方法はP.13の「スプリット位置変更」の項を参照してください。

ヒント

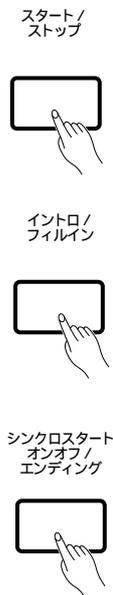
カッコ () 内の音譜は省略しても構いません。
オクターブの押鍵 (完全8度) ではルート音だけのアカンパニメントが演奏されます。
黒鍵を含めて隣接する3音を押鍵すると、コード演奏がキャンセルされ、リズム楽器だけの伴奏になります。

メモ

コード押鍵はすべて基本形で書かれています。その転回形も受け付けます。ただし、以下の場合を例外とします。
m7b5とm6はインターバルが共通のため、押鍵の最低音がm6の根音となっている場合はm6とみなし、それ以外はm7b5とみなします。
aug、dimは押鍵の最低音を根音とみなします。
7b5は押鍵の最低音を根音またはb7とみなします。
ワンプラストゥープラスファイブは基本形のみ受け付け、それ以外はsus4とみなします。
M6は基本形のみ受け付け、それ以外はm7とみなします。

リズム / 伴奏をスタートしましょう

リズム / 伴奏をスタートさせるには、以下の3つの方法があります。



スタート

スタート/ストップボタンを押すと、同時にリズムがスタートします。鍵盤の左手鍵域でコードを押さえるまで、リズムだけの演奏を繰り返します。

イントロスタート

イントロ/フィルインボタンを押すと、同時にイントロ演奏が始まります。

シンクロスタート

シンクロスタートオンオフ/エンディングボタンを押すと、マルチディスプレイ上部の3つのLEDドットが同時に点滅して、シンクロスタートの待機状態になります。この状態から鍵盤の左手鍵域でコードを押さえると自動伴奏がスタートします。

メモ

伴奏モードが「ノーマル」または「スプリット」に設定されている場合は、リズムだけの演奏を繰り返します。

伴奏モードを「シングルフィンガー」または「フィンガード」に設定すると、自動的にシンクロスタート待機状態になります。

シンクロ待機状態でもう一度シンクロスタートオンオフ/エンディングボタンを押すと、待機状態はキャンセルされます。

シングルフィンガーまたは、フィンガードモード時に、シンクロ待機状態をキャンセルしてから、左手鍵域でコードを押さえると、アカンパニメントのベースとコードの音色で発音します。

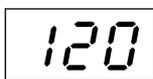
シンクロ待機状態でスタート/ストップボタンを押すと、普通の「スタート」になります。

演奏がスタートしてから伴奏スタイルのナンバーを変更することができます。新しい伴奏スタイルの演奏は次の小節から始まりますが、テンポは以前の伴奏スタイルの設定のままです。

シンクロスタートオンオフ/エンディングボタンを押してから、イントロ/フィルインボタンを押すと、イントロ待機状態になります。この時、マルチディスプレイに表示されているナンバーの左側に「_」が表示されます。

テンポの調整

リズム / 伴奏のテンポが早い場合や遅い場合は、テンポ [+] [-] ボタンを押してテ



テンポ



ンポの調整をします。

1 テンポ [+] [-] ボタンのどちらかを押すと、現在設定されているテンポ (♩=1分間の4分音符の数) がマルチディスプレイに表示されます。

2 テンポの表示中に、[+] ボタンを押すとテンポ数値が二つ増加 (速くなる)、[-] ボタンを押すとテンポ数値が二つ減少 (遅くなる)、押し続けると連続で増減します。40 ~ 240の範囲でテンポを設定してください。

メモ

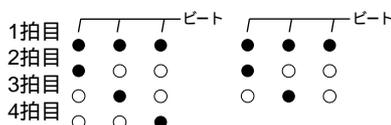
テンポ [+] [-] ボタンを同時に押すと伴奏スタイルそれぞれのプリセット (あらかじめ設定されている標準的なテンポ) に戻ります。

テンポ表示後約2秒で、ディスプレイは伴奏スタイルまたは音色ナンバーの表示に戻ります。

リズムがストップしているときに伴奏スタイルを変更すると、自動的にそのスタイルの初期テンポがセットされます。リズム演奏中に伴奏スタイルを変更してもテンポは変わりません。

4拍子系

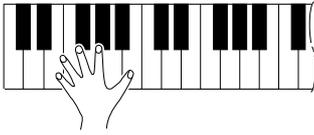
3拍子系



ビートディスプレイについて

自動伴奏がスタートすると、マルチディスプレイ上部の3つのLEDドットが図のように点滅して、ビート (拍数) を表示します。

演奏しましょう



シングルフィンガー/フィンガードの設定に従って、鍵盤の左手鍵域でコードを押さえると、そのコードに合ったベースとコードの演奏が自動的に始まります。自動伴奏は左手を離しても続きます。右手鍵域では伴奏に合わせ、好みの音色でメロディを演奏しましょう。

メモ

コードの変更は、拍単位で検出されます。

コードを変更する時は、すべてのキーを一旦離してから、新しいコードを押さえてください。

フィルインの活用

フィルイン



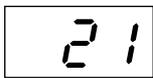
演奏中にイントロ/フィルインボタンを押すとすぐにフィルインが始まります。また、イントロ/フィルインボタンを押し続けると、その間、フィルインが繰り返し演奏されます。演奏の節目などで使いましょう。

メモ

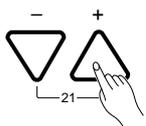
小節内の最後の1拍目以降にイントロ/フィルインボタンを押すと、次の小節の頭からフィルインが始まります。

伴奏音量の調節

伴奏音量 [+] [-] ボタンを使って、自動伴奏の音量を0~24の範囲で調節することができます。



伴奏音量



1 [+] [-] ボタンのどちらかを押すと、現在設定されている伴奏音量がマルチディスプレイに表示されます。

2 伴奏音量の表示中に [+] ボタンを押すと音量数値が一つ増加、[-] ボタンを押すと音量数値が一つ減少、押し続けると連続で増減します。0~24の範囲で設定してください。

メモ

伴奏音量 [+] [-] ボタンを同時に押すと、初期設定値 (電源を入れたときの設定) の21に戻ります。

伴奏音量表示後約2秒で、ディスプレイは伴奏スタイルまたは音色ナンバーの表示に戻ります。

リズム/伴奏をストップしましょう

シンクロスタート
オンオフ/
エンディング

スタート/
ストップ



スタート/ストップボタンを押すと、自動伴奏がストップします。

エンディングを演奏してからストップしたい場合は、シンクロスタートオンオフ/エンディングボタンを押します。次の小節からエンディングを演奏して、ストップします。

自動伴奏が終了するとシンクロ待機状態になります。

メモ

演奏している小節の1/4拍目以内にシンクロスタートオンオフ/エンディングボタンを押すと、すぐにエンディングが始まります。

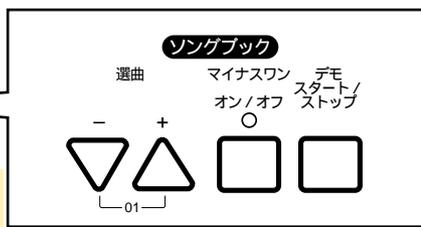
エンディングの演奏中にイントロ/フィルインボタンを押すと、フィルインを演奏した後、演奏は継続されず。

ソングブックを使ってマイナスワンで演奏する

デモ曲のマイナスワン演奏をしましょう

マイナスワン演奏とは、デモ曲のメロディ演奏をミュート（消音）して、カラオケのようにメロディを自分で演奏できる機能のことです。P.27～37の楽譜を見ながらデモ曲を練習しましょう。

ソングリスト

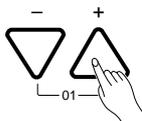


このイラストはPDF上では表示されません。

1 マルチディスプレイをソングナンバーの表示に切り替えます。



選曲



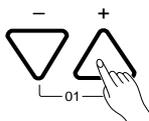
選曲 [+] [-] ボタンのどちらかを押すと、現在選ばれているソングナンバーがマルチディスプレイに表示されます。

メモ

ソングナンバーの表示中は、マルチディスプレイの一番左の桁に「d」が表示されます。なお、表示後約2秒でディスプレイは伴奏スタイルまたは音色ナンバーの表示に戻ります。

2 ソングを選択します。

選曲



ソングナンバーの表示中に選曲 [+] [-] ボタンを押して、01～15のデモ曲の中から好みのソングナンバーを選びます。ナンバーは [+] ボタンで一つ増加、[-] ボタンで一つ減少、押し続けると連続で増減します。

メモ

[+] [-] ボタンを同時に押すと、ソングナンバーは01に戻ります。

3 マイナスワンをオンに設定します。

マイナスワン
オン/オフ



マイナスワンオン/オフボタンを押してランプが点灯すると、マイナスワン機能がオンになります。

4 マイナスワン演奏をスタートします。

デモ
スタート/ストップ



デモスタート/ストップボタンを押すとマイナスワン演奏がスタートします。P.27～37の楽譜を参考に演奏しましょう。

マイナスワン
オン/オフ



演奏中にマイナスワンオン/オフボタンを押すと、ミュートされていたメロディ音色が鳴り始めます。

マイナスワンオン/オフボタンを押すと、再びメロディ音色がミュートされます。

🎵 ヒント

弾きやすいテンポに調節して演奏してみましょう。

マイナスワン演奏は、スプリットボイスやデュアルボイスでも演奏できます。

📄 メモ

マイナスワンの演奏中は、メロディ音色、デュアルオン/オフ、サステインオン/オフ、オートハーモニー、伴奏音量、トランスポーズ、スプリットポイントの設定を変更することができます。ただし、曲中に音色などの変更があらかじめプログラムされている場合は、曲中でそのプログラムの設定値に戻ります。

伴奏モードが「シングルフィンガー」または「フィンガード」に設定されている場合は、自動的に「ノーマル」に変わります。

マイナスワンの演奏中は、伴奏モードをシングルフィンガー/フィンガードに変えることはできません。

5 マイナスワン演奏をストップします。

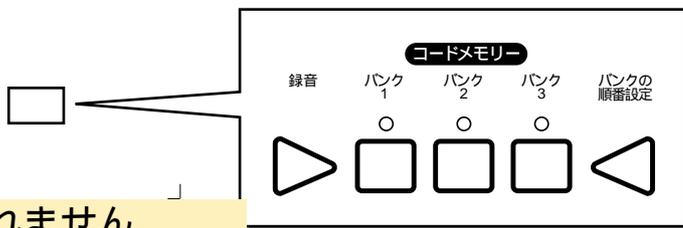
デモ
スタート/ストップ



マイナスワン演奏は、デモ演奏と異なり選択したソングを繰り返し何度も演奏します。演奏途中でストップする場合は、デモスタート/ストップボタンを押してください。

コードメモリーを使う

PSR-215はコード進行をそれぞれ3つのバンクに録音することができます。コード進行を録音しておけば、それを再生しながらメロディパートを演奏できます（この場合、すべての鍵域がメロディ演奏に使用可能）。また、各バンクに異なった曲を録音することはもちろん、メモリー容量を越えるような長い曲を3つのバンクに分けて録音し、連続して再生することができます。



このイラストはPDF上では表示されません。

コードメモリーに録音できる具体的な内容

- ・演奏データ（コード押鍵のタイミング、コードチェンジデータ）
- ・伴奏スタイル（録音開始時のスタイル）
- ・イントロ/フィルイン/エンディング/ストップ

メモリー容量（1小節に1回コードチェンジした場合）：1バンクにつき60コード

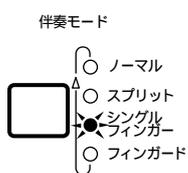
メモ

コードの録音は1拍単位で行えます。

電源を入れたとき、各バンクは何もデータのないブランクの状態になっています。録音したデータを消して、各バンクをブランクの状態に戻したい場合は、P.39の初期化の操作を行ってください。

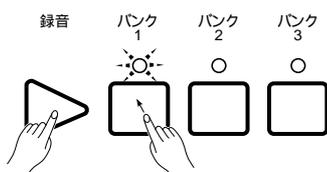
録音しましょう

1 伴奏スタイルと伴奏モードを選択します。



「自動伴奏を使って演奏する」（P.16）の項を参照して、伴奏スタイルと伴奏モード（シングルフィンガー、またはフィンガードのいずれか）を選択します。

2 録音待機状態にします。



録音ボタンを押しながら、バンク1～3ボタンの一つを押します。メトロノーム音が鳴り、マルチディスプレイの3つのドットとバンクランプが同時に点滅して、PSR-215は録音待機状態になります。

メモ

録音を中止する場合は、録音ボタンをもう一度押すか、シンクロスタートオンオフ/エンディングボタンを押してください。待機状態が解除されます。

1で伴奏モードを「ノーマル」または「スプリット」に設定していた場合は、録音待機状態になると同時に、自動的に「フィンガード」に変更されず。

3 テンポを調節します。.....



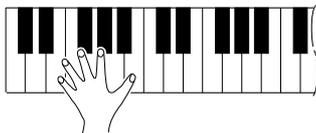
録音待機状態に入るとメトロノーム音が鳴り、伴奏のテンポを表します。録音しやすいテンポに調節してください。
(P.18「テンポの調整」参照。)

4 録音をスタートします。.....

スタート/
ストップ



イントロ/
フィルイン



録音のスタートには次の3種類があります。いずれかの方法でスタートし、演奏を録音しましょう。

リズムパターンからのスタート

伴奏のコード音やベース音がないシンプルなリズムだけのスタートです。

スタート/ストップボタンを押すと、すぐに録音が始まります。スタート後左手鍵域でコードを押さえると、コード音やベース音が付いた伴奏になります。

イントロパターンからのスタート

イントロパターンからのスタートです。

イントロ/フィルインボタンを押すとイントロ待機状態に入ります。左手鍵域を押さえると、イントロパターンから録音がスタートします。

自動伴奏からのスタート

コード音やベース音が付いた自動伴奏からのスタートです。左手鍵域でコードを押さえると、すぐにコード音やベース音が付いた伴奏で録音が始まります。

録音がスタートしたら、コードを演奏しましょう。

5 録音をストップします。.....

シンクロスタート
オンオフ/
エンディング



スタート/
ストップ

録音をストップさせる場合はスタート/ストップボタンを押してください。

また、エンディングパターンを演奏してからストップする場合は、シンクロスタートオンオフ/エンディングボタンを押してください。

メモ

録音中は伴奏スタイルを変更できません。

録音途中でメモリー容量がいっぱいになると、マルチディスプレイに「End」が表示された後、録音は自動的にストップします。ただし、「End」が表示されるまでのデータは録音されています。

!! 注意

録音済みのバンクにもう一度録音すると、そのバンクに記録されていた録音内容はすべて消去され、新しく録音された内容に入れ替わります。

電源アダプターがコンセントに差し込まれているか、乾電池がセットされている場合は、電源を切っても録音内容は保存されています。電源アダプターを外したり、乾電池を抜いた場合は、すべてのバンクの録音内容が消去されます。

再生しましょう

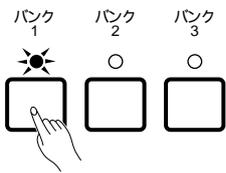
ここでは録音内容を再生しながら、それに合わせて鍵盤で演奏しましょう。

1 鍵盤で演奏する音色を選択します。



P.8の「音色を選んで演奏する」の項を参照して、鍵盤で演奏する音色を選択します。

2 再生をスタートします。



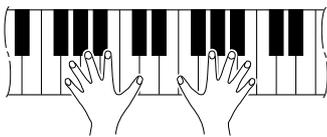
バンク1~3ボタンのいずれかを押し、すぐにそのバンクの再生がスタートします。

メモ

伴奏モードが「シングルフィンガー」「フィンガード」に設定されている場合、バンクボタンを押すと自動的にノーマルモードになります。

再生中は、伴奏モードをシングルフィンガー/フィンガードに切り替えることはできません。

3 再生に合わせて演奏しましょう。



再生に合わせて鍵盤でメロディを演奏しましょう。このとき、テンポを変更したり、イントロ/フィルインボタンを押したり、スプリットボイス、デュアルボイス、サステイン、オートハーモニーなどの機能も使用できます。

メモ

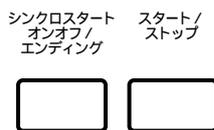
再生中に他のバンクボタンを押すと、そのバンクのランプが点滅し、次の小節からそのバンクの再生が始まります。

PSR-215の最大同時発音数は28音です。最大同時発音数に関する詳細はP.38の「最大同時発音数リスト」の項を参照ください。

ヒント

シングルフィンガーやフィンガードを使って自動伴奏を演奏しているときも、バンクの再生に移行することができます。

4 再生をストップします。



再生をストップする場合は、スタート/ストップボタンを押してください。

また、エンディングパターンを演奏してからストップする場合は、シンクロスタートオンオフ/エンディングボタンを押してください。

メモ

バンクの再生は、スタート/ストップボタンを押すまで何回も繰り返します。ただし、エンディングパターンが録音されているバンクの場合、エンディングパターンを演奏してから再生をストップします。

チェイン再生しましょう

チェイン再生とはバンク1~3を好みの順に並べて、連続再生する機能です。
バンクは8つ（8回）まで連続再生することができます。

チェイン再生の順序のセット

1 チェインモードに入ります。



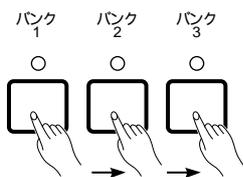
バンクの順番設定ボタンを押します。
バンクランプ3つとマルチディスプレイの3つのドットが同時に点滅して、チェインモードに入ります。

メモ

チェインモードから抜ける場合は、もう一度バンクの順番設定ボタンを押すか、シンクロススタートオンオフ / エンディングボタンを押してください。

自動伴奏演奏中、またはコードメモリー録音待機中は、チェインモードに入れません。

2 再生順序をセットします。



再生させる順にバンク1~3ボタンを押してください。
一つ押すごとに、現在のバンク数を英語で1, 2, 3, 4...とガイドする声が発音されます。

メモ

チェイン再生は8つ（8回）までです。再生バンク設定が8を越えた場合は何も発音されません。

P.39の初期化の操作を行うとバンクの順番設定が初期化され、何もデータのないブランクの状態になります。

3 セットを終了します。



バンクの順番設定ボタンをもう一度押すと、セットが終了しチェインモードから抜けます。

メモ

スタート/ストップボタンを押してもセットは終了しますが、この場合はすぐにチェイン再生が始まります。

!! 注意

電源アダプターがコンセントに差し込まれているか、乾電池がセットされている場合は、電源を切っても、セット内容は保存されています。電源アダプターを外したり、乾電池を抜いた場合は、セット内容が消去されます。

チェイン再生

ここではチェイン再生しながら、それに合わせて鍵盤でメロディを演奏しましょう。

1 鍵盤で演奏する音色を選択します。



P.8の「音色を選んで演奏する」の項を参照して、鍵盤でメロディを演奏する音色を選択します。

2 チェインモードに入ります。



バンクの順番設定ボタンを押します。
バンクランプ3つとマルチディスプレイの3つのドットが同時に点滅して、チェインモードに入ります。

メモ

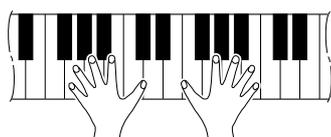
チェインモードから抜ける場合は、もう一度バンクの順番設定ボタンを押すか、シンクロスタートオンオフ / エンディングボタンを押してください。

3 チェイン再生をスタートします。



スタート/ストップボタンを押すと、すぐにセットした順にバンクの再生が始まります。
テンポは再生前に設定されていたテンポになります。

4 チェイン再生に合わせて演奏しましょう。



チェイン再生に合わせて、鍵盤で演奏しましょう。
このとき、テンポを変更したり、イントロ / フィルインボタンを使ったり、スプリットボイス、デュアルボイス、サステイン、オートハーモニーなどの機能も使用できます。

メモ

PSR-215の最大同時発音数は28音です。最大同時発音数に関する詳細はP.38の「最大同時発音数リスト」の項を参照ください。

5 チェイン再生をストップします。



再生をストップさせる場合は、スタート/ストップボタンを押してください。
また、エンディングパターンを演奏してからストップする場合は、シンクロスタートオンオフ / エンディングボタンを押してください。

メモ

チェイン再生は、スタート/ストップボタンを押すまで何回も繰り返します。ただし、チェイン再生の順番設定の最後にエンディングをセットした場合は、そのバンクの再生終了（エンディング終了）と同時にチェイン再生をストップします。

この楽譜はPDF上では表示されません。

このイラストはPDF上では表示されません。

このイラストはPDF上では表示されません。

このイラストはPDF上では表示されません。

このイラストはPDF上では表示されません。

このイラストはPDF上では表示されません。

このイラストはPDF上では表示されません。

このイラストはPDF上では表示されません。

このイラストはPDF上では表示されません。

このイラストはPDF上では表示されません。

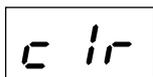
最大同時発音数リスト

PSR-215の最大同時発音数は28音ですが、デュアルボイスやスプリットボイス、自動伴奏、コードメモリーなどを含めたすべての発音数の合計が28音ということです。したがって、自動伴奏や録音・再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。28音すべて使用するとマルチディスプレイに「Full」が表示され、それ以上発音されなくなります。

なお、PSR-215の音色の中には、2~4音を使って作られているものがあります。これらは1音の発音が2~4音の発音に相当します。各ボイスごとの使用発音数は、次のリストを参照してください。（リスト内の発音数は、その音色の使用する発音数を示していますが、音程によってはこれ以下の発音数となっているものもあります。）

音色No.	音色名	使用発音数	音色No.	音色名	使用発音数	音色No.	音色名	使用発音数
アコースティックキーボード			弦楽器 2			マレット		
01	アコースティックピアノ	1	33	バイオリン	2	67	ビブラフォン	2
02	ホンキートンクピアノ	2	34	チェロ	2	68	マリンバ	1
03	ハーブシコード	1	35	コントラバス	1	69	グロッケンシュピール	2
04	クラビ	1	36	ストリングス1ファースト	2	シンセサイザー		
05	チェレスタ	1	37	ストリングス1スロー	2	70	シンセリード	2
06	チャーチオルガン	2	38	ストリングス2ファースト	2	71	シンセプラス1	2
07	リードオルガン	1	39	ストリングス2スロー	2	72	シンセプラス2	2
08	アコーディオン	2	コーラス			73	シンセストリングス1	2
09	バンドネオン	2	40	クワイア アー	2	74	シンセストリングス2	2
エレクトリックキーボード			41	ボイス ウー	1	75	シンセボイス	3
10	エレクトリックピアノ1	2	ブラス			76	ファンタジー-1	4
11	エレクトリックピアノ2	2	42	トランペット	1	77	ファンタジー-2	3
12	エレクトリックピアノ3	3	43	トロンボーン	2	78	シークパッド	4
13	エレクトリックピアノ4	3	44	チューバ	1	70	アコースティックピアノパッド	3
14	エレクトリックオルガン1	2	45	ミュートトランペット	1	80	エレクトリックピアノパッド1	3
15	エレクトリックオルガン2	2	46	フレンチホルン	1	81	エレクトリックピアノパッド2	3
16	エレクトリックオルガン3	2	47	ブラスアンサンブル1	2	82	エレクトリックピアノパッド3	3
アコースティックギター			48	ブラスアンサンブル2	3	83	エレクトリックピアノパッド4	3
17	フォークギター	1	49	ブラスアンサンブル3	2	84	アコースティックギターパッド	3
18	12弦ギター	2	バイブ			85	ベルストリングス	4
19	ガットギター	2	50	ビッコロ	1	86	オーケストラヒット	1
	エレクトリックギター		51	フルート	1	ベース		
20	ジャズギター	1	52	リコーダー	1	87	ウッドベース	1
21	エレクトリックギター	2	53	パンフルート	1	88	エレクトリックベース1	1
22	ミュートギター	1	54	オカリナ	1	89	エレクトリックベース2	1
23	ミュートギターエコー	2	リード			90	フレットレスベース	1
24	12弦エレクトリックギター1	2	55	ソプラノサクソ	1	91	スラップベース1	1
25	12弦エレクトリックギター2	2	56	アルトサクソ	1	92	スラップベース2	1
26	ディストーションギター	1	57	テナーサクソ	1	93	シンセベース1	1
27	ギターハーモニクス	1	58	バリトンサクソ	1	94	シンセベース2	1
28	エレアコギター1	2	59	オーボエ	1	95	シンセベース3	1
29	エレアコギター2	2	60	イングリッシュホルン	1	その他		
弦楽器 1			61	バスーン	1	96	ミュージックボックス	2
30	バンジョー	2	62	クラリネット	1	パーカッション		
31	ハーブ	1	63	ハーモニカ	1	97	ティンパニ	1
32	ピチカートストリングス	2	64	サクソアンサンブル1	2	98	スチールドラム	2
			65	サクソアンサンブル2	2	99	ラテンパーカッションピッチ付	1
			66	ウッドwindアンサンブル	2	00	ドラムキット	1

初期化の方法



PSR-215を工場出荷時の状態に戻すことを「初期化」と呼びます。

以下の機能を初期化することができます。

初期化が終了するとマルチディスプレイは「clr」を表示します。

コードメモリーの初期化

各バンクボタンを押しながら、電源を入れてください。

押したバンクの内容が初期化され、何もデータのないブランクの状態になります。

チェーンメモリーの初期化

バンクの順番設定ボタンを押しながら、電源を入れてください。

チェーンメモリーの内容が初期化され、何もデータのないブランクの状態になります。

スプリット位置の初期化

スプリット位置変更ボタンを押しながら、電源を入れてください。

スプリットモード、シングルフィンガードモード、フィンガードモード、すべてのスプリット位置が初期化されます。

故障かな？と思ったら...

現象	原因	解決方法
POWER ON/OFF (電源オン/オフ) スイッチを押して電源を入れると、ポツンという音がする。	本体に電流が流れるためです。	故障ではありません。
リズムが突然止まったり、音が歪み、演奏ができない。	電池が消耗しています。	6本とも新しい電池と交換するか、または、付属の電源アダプターを接続してください。
同時に押さえた鍵盤の音が全部鳴らない。	同時に鍵盤を押さえ過ぎです。	PSR-215の最大同時発音数は28です。自動伴奏やコードメモリーも含めて最大28音の範囲で鳴らすことができません。
自動伴奏の演奏中、押鍵コードを変えても演奏される伴奏が変わらない。	モードに合ったコードの押さえ方をしていない。	シングルフィンガード/フィンガードでは、それぞれコードの押鍵方法が異なります。コードを確認して正しく押さえてください。
	前のコードを離さないうちに、次のコードを押さえようとしている。	コードの変更は、いったん鍵盤から指を完全に離してから、次のコードを押さえてください。
設定したデータが消えている。	コードメモリーデータ、チェーンデータ、スプリット位置データは、電源を切っても乾電池がセットされているか、電源アダプターが差し込まれている限りメモリーされます。それ以外は、電源を切ると自動的に初期化されます。	もう一度設定してください。
サステインがオフにならない。	電源が入っている状態で、フットスイッチを取り外した。	フットスイッチをもう一度接続し、電源を入れ直してください。

PSR-215仕様

鍵盤：

レギュラーサイズ61鍵（C1～C6：タッチレスボンス付）

音色：

AWM100音色（最大同時発音数28）：01～00

伴奏スタイル：

50スタイル：01～50

セットアップ：

電源スイッチ：オン/オフ
マスターボリューム：MIN～MAX

ボイスエフェクト：

オートハーモニー：00～05：[+] [-] ボタン
サステイン：オン/オフ
タッチレスボンス：オン/オフ
デュアルボイス：オン/オフ

全体のコントロール：

伴奏モード：ノーマル、スプリット、シングルフィンガー、フィンガード

テンポ：40～240：[+] [-] ボタン
トランスポーズ：-12～+12：[+] [-] ボタン
スプリット位置変更

リズム/伴奏コントロール：

伴奏音量：0～24：[+] [-] ボタン
コントロール：イントロ/フィルイン、
シンクロスタートオンオフ/エンディング、スタート/ストップ

ソングブック（デモ&マイナスイオン）：

15曲：01～15：選曲[+] [-] ボタン
マイナスイオン：オン/オフ
デモ：スタート/ストップ

コードメモリー：

コード録音：録音ボタン、3バンク、バンクの順番設定

マルチディスプレイ：

ナンバー選択ボタン：[+]，[-]，[0]～[9] ボタン
音色/伴奏スタイル切替ボタン

付属端子：

DC IN、ヘッドフォン/AUX出力、サステインペダル

アンプ最大出力：

1.7W×1.7W（EIAJ）（電源アダプターPA-3使用時）
1.8W×1.8W（EIAJ）（乾電池使用時）
AUX OUT/ヘッドフォン出力：出力インピーダンス50Ω

スピーカー：

10cm×2

使用電池：

単1乾電池（1.5V）×6

電池寿命（デモ演奏連続使用：ボリューム最大）：

マンガン電池で約8時間
アルカリ電池で約16時間

使用電源アダプター：

PA-3

消費電力：

（電源アダプター） 9.5W

寸法（幅×奥×高mm）：

908×344×110

重量（kg）：

5.1（乾電池含まず）

付属品：

電源アダプターPA-3、譜面立て、和文シート、取扱説明書、保証書

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更する場合があります。

オプション商品のご紹介

ヘッドフォン	HPE-150	¥4,000
	HPE-3	¥3,000
ソフトケース	SCC-32	¥6,000
キーボードスタンド	L-2C	¥6,000
フットスイッチ	FC4	¥3,000
	FC5	¥1,500

商品の金額には、消費税は含まれておりません。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日から1年間です。

保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お持ち込み窓口)

北海道サービスセンター	〒064	札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL. 011-513-5036
仙台サービスセンター	〒983	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL. 022-236-0249
首都圏サービスセンター	〒211	川崎市中原区木月1184 TEL. 044-434-3100
東京サービスステーション* (*お持ち込み修理のみお取扱い)	〒108	東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03-5488-6625
浜松サービスセンター	〒435	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内 TEL. 053-465-6711
名古屋サービスセンター	〒454	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F TEL. 052-652-2230
大阪サービスセンター	〒565	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 TEL. 06-877-5262
四国サービスセンター	〒760	高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内 TEL. 0878-22-3045
広島サービスセンター	〒731-01	広島市安佐南区西原6-14-14 TEL. 082-874-3787
九州サービスセンター	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092-472-2134
[本社]カスタマーサービス部 内	〒435	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場 TEL. 053-465-1158

各支店営業課リスト

北海道支店 LM営業課	〒064	札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL. 011-512-6113
仙台支店 LM営業課	〒980	仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル TEL. 022-222-6147
東京支店 特販営業課	〒108	東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03-5488-5475
関東支店 LM営業課	〒108	東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03-5488-1688
名古屋支店 LM営業課	〒460	名古屋市中区錦1-18-28 TEL. 052-201-5199
大阪支店 特販営業課	〒542	大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋ブラザビル東館 TEL. 06-252-7491
広島支店 LM営業課	〒730	広島市中区紙屋町1-1-18 TEL. 082-244-3749
九州支店 LM営業課	〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL. 092-472-2130
電子楽器営業部 ポータブル楽器営業課	〒108	東京都港区高輪2-17-11 TEL. 03-5488-6641

住所および電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA
YAMAHA CORPORATION

ヤマハ株式会社
M.D.G., EMI Division
© Yamaha Corporation 1995

Printed in China